



小雀公園 里山通信



Vol.27 秋の草刈と出来事



とても暑くて長い過酷な夏でしたが、冬もあまり寒くはならず、今年は暖冬になる予報のようです。暑いよりは寒いほうがマシとはいいつつ、寒さが厳しくないなら楽だなどと思う反面、異常気象など環境面については心配になってきます。

小雀公園では毎年 9 月入ると、あちこちの草刈を行います。夏の間は生き物保護などの観点から草刈を行っていないスギ林やため池周り、ヨシ原など面積の広い場所の草刈を行うため、草刈が済むと公園内の見通しが良くなります。我々管理者もこれでやっと夏が終わって秋を迎えるなど、一息つくことができます。どんなに暑くても公園職員は外で働かないといけないので、秋になると本当に安心します。



異常気象が原因なのかなと思う出来事が、スギ林の草刈中に発生しました。草刈りをしていたら茂みからコジュケイが飛び出てきて、あとでその場所を確認したら巣がありました。通常は春に卵を産むので、秋に抱卵しているとは思いませんでした。脅かしてしまったのでもう巣には戻ってこないかなと思いましたが、翌日確認したら抱卵していたのでよかったです。季節外れだけど大丈夫かなと心配しましたが、無事に孵化したようで、数日後には卵の殻だけ残して巣は空っぽになっていました。ニワトリの雛のように生まれるとすぐに歩き出すので、もう巣立ったんだと思って巣や卵の殻を写真に撮ろうと巣に近づいたら、すぐ目の前でコジュケイが騒いでいるのでびっくりしました。見事な保護色で、いることに気づきませんでした！なんで逃げないのだろうと思っていたら、近くでカサカサと小さな音がしました。どうやら孵化して間もなくだったようで、まだ巣の近くに雛がいて、それを守ろうと親鳥が威嚇していたようです。ゴメンゴメン！と慌ててその場を離れたので、雛の姿は見ることはできませんでしたが、親指と人差し指で円を作ったくらいのサイズでしょうから、とてつもなくかわいいヒヨコだったことでしょうね。暑さが長引いたのでエサもまだ豊富にありそうですから、すくすく育ってくれたことと思います。今度は姿を見せてね！



とても簡素な
巣と卵の殻



騒いで敵の注意を
自分に向けさせ、
子供を守る親の愛！



小雀公園 ☎045-853-1945

<https://midocomi.com/kosuzumepark.html>

横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

